

4 学校評価アンケート 報告

今年度の保護者による学校評価アンケートの集計結果の分析と、それに基づく今後に向けての方策や方向性を報告いたします。

【1学年】

学習面では、入学して初めての学びが「楽しい！分かる！」ものになるよう、日常生活の場面と結びつけながら映像や実物を使って興味をもてるよう心掛けました。自分たちで撮影した写真や動画も授業に活用することで、タブレット端末に慣れることもできました。また、学習につまずいている様子が見られたときには、どこが分からないのか見取り、保護者と共にその子に合った方法を見つけながら「できた！」が経験できるようにしてきました。さらに、毎日の家庭学習にもご協力いただいたおかげで、基礎学力が定着し、学習習慣も身に付きました。

生活面では、まず教員が子どもたちのよいところを見つけ、伝えることを意識してきました。それが子どもたち同士の認め合いにもつながり、自分のよいところに気付くことができました。また、困った様子が見られたときには、子どもたちの気持ちに寄り添いながらていねいに話を聞き、どうしたらよかったか一緒に考えてきたことが安心感につながっていると考えます。

【2学年】

学習面では、具体物やタブレット端末を使ったり、自分の考えと友達のを比べたりする活動を通して、理解を深めるように努めてきました。一人ひとりにあった学習を通してスモールステップで「できる」を増やし、魅力ある学習活動で「楽しい」、発展的な問題や活動で「もっとやりたい」を増やしていけるようにしていきます。

生活面では、意図的に子どもたちの良いところを見つけて称賛し、自己肯定感を高めるように努めてきました。多くの子どもたちが楽しんで学校生活を送ることができたことに安心しました。できることが増え、進んで学習に取り組んだり、よりよい学校生活にするために係活動を工夫したりしてきました。これからも、いろいろなことに進んでチャレンジしていけるように声をかけていきます。

【3学年】

学習面では、算数科において、少人数指導体制や、教師二人による指導などを行い、個に合わせた指導ができるように心がけました。また、計算や漢字については繰り返し練習を重ねることで、基礎的な学力の定着を図りました。学習中は、従来の教科書とノートの学習に併せ、タブレット端末を活用しました。まず、主にロイロノートの利用の仕方を学びました。教師との画面共有機能を使ったり、友達の意見や考えを一覧で見て、新たな考えを取り入れたりするなど、学び合いに生かしました。

生活面では、多くの児童が楽しく前向きに生活することができました。お互いの言葉遣いに気を付けようとする場面や、明るく友達と接しようとする姿が多くみられました。これからも引き続き思いやりの気持ちを大切にしながら生活して欲しいと思います。

【4学年】

学習面では、子どもたちの思いや考えを聞き、学習意欲を高められるよう、必要感のある授業を行いました。素直な子どもの思いをなるべく取り入れ、分かる・楽しい授業を体育や理科学習など様々な教科で取り入れました。また、算数科では、教師二人体制でよりきめ細かく学習支援ができ

るよう努めました。どの教科でも、タブレット端末のロイロノートを活用し、文章を打ち込んだり、ワークシートなどの教材を見たりしました。それにより友達の考えや作品を見合うことも簡単になり、より学び合いが深まったように感じます。

生活面では、感染症予防を行いながら、安全・安心な学校生活を送れるようにしました。朝の会や帰りの会の時間を用いて、子どもたちや社会の状況に合わせて話をし、意識しなければならないこと、人としてどう生活しなければならないのか、伝えてきました。

【5学年】

学習面では、一人一人を丁寧に見取りながら、分かりやすい授業づくりをするよう心がけました。高学年になり、学習への取組に個人差が見られるようになってきていると感じます。個々の実態に応じたスモールステップの学習や、得意を伸ばせる発表場面の設定などを意識し、より充実した学習になるよう努めていきます。タブレット端末については、グラフや表を用いて国語のレポートを作成したり、撮影した動画を参考に体育のふりかえりをしたりするなど、学習を深めるために役立てています。また、教師の見守りのもと、児童間での通信なども活用して互いの考えを共有し認め合う場面にも生かしています。

生活面では、昨年度に引き続き感染症予防を行いながら、安全・安心な学校生活を送れるようにしました。委員会の活動などを通して、高学年として下の学年の手本になりたいという姿も見られています。一方で、5年生は人間関係のトラブルが起きやすい時期でもあります。教科交換等を活用して学年で見守りながら、ご家庭とも連携をとり、子どもたちが安心して生活できる学級・学年づくりに努めていきます。

【6学年】

小学校生活最後となる大切な一年を充実させられるよう、内容を工夫しながら様々な活動に取り組みました。昨年に引き続きタブレット端末を使用しての学習を充実させました。情報を得るだけでなく、スライドを作成してプレゼンテーションをする学習を多く設定しました。漢字や計算などを家庭学習で繰り返し練習できるようにしました。また、一斉学習の中でも学習のゴールを明確にし、自ら学ぶ姿勢を育めるようにしました。コロナ禍であり、様々な活動に制限がある中でも「今なにかできるのか」を子どもたちと一緒に考え、主体的に物事に取り組む意識を育みました。人間関係や学習面での不安も大きくなる時期です。直接相談できないことも出てくることかと思いますが、各ご家庭と連携しながら、子どもたちに寄り添い、支援していけるよう努めていきます。

【全校】

今年度より、アンケートの対象を保護者に加え、4年生以上の児童、職員とし、三者の回答を比較することで、さらに課題について見えやすくなるようにしました。全体的にはどの項目も肯定的な回答が多く、教育活動についてご理解をいただけていることが分かりました。その中でも、顕著な傾向が見られたものは次の通りです。

設問1「工夫した楽しい授業」については、児童の「あてはまる」という回答が職員や保護者を大きく上回る結果となりました。今後も、子どもたちが意欲的に学習に取り組んでいけるように授業改善に努めます。

設問2「自分に合った学習方法」については、課題があると感じている保護者、児童が一部にいたることが分かりました。また設問15「学習に対する理解」については、三者とも肯定的ではあったものの、職員の回答に「あてはまる」が少ない傾向が見られました。スマイルルーム（取り出しの学習指導）や算数の少人数教室などで対応していますが、同じ困り感をもつ児童をグルーピングし

て指導するなど枠の増設ができるようにしていきます。

設問5「生命尊重・人権尊重」については去年度に比べ保護者の「あてはまる」という回答が増えました。今年度は、道徳科の学習や人権学習、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れている様子についても、学校だよりやホームページ等で保護者の皆様にもお伝えするようにしました。今後も学校での具体的な取り組みを積極的にお伝えできるようにしていきます。

設問3「いじめや差別への対応」設問12「教員への相談のしやすさ」については、児童の否定的な回答が職員や保護者に比べ多い結果となりました。子どもが困った時にSOSを出しやすいように児童と担任との教育相談の場を設定したり、相談カードの活用を全校に呼びかけたりしていきます。また、児童のちょっとした変化をキャッチできるように週1回設けている職員の児童情報交換の時間を充実させていきます。

設問13「進んであいさつ」については、保護者・児童と職員の認識が大きく異なっていました。このコロナ禍でのマスク着用してのあいさつは、なかなか相手に伝わりづらいことも考えられます。相手に伝わるようにするためには、会釈や笑顔などで伝える方法もあることなど、互いに心が通じ合えるあいさつについて児童自身が考え、めあてをもって取り組めるような学習を取り入れていきます。また、引き続き教師自らが率先して気持ちのよいあいさつをしていくことで、あいさつのよさが児童にも伝わるようにしていきます。

保護者による学校評価アンケート（ご質問・ご要望）に対する回答をします。

ご家庭からのご意見とご提案	学校の対応と回答
<p>感染症対策を徹底していただきありがとうございます。ただ、近隣の学校で出来ている事ができないのはちょっとかわいそうだと思ってしまいました。（スポーツテストや運動会等）大変な事だと思いますが、子ども達も沢山の事を我慢して過ごしているので、感染症の状況に応じての対応を考えていただけたら…と思います。 他</p>	<p>来年度は、本年度実施できなかった宿泊体験学習始め、音楽会、土曜参観などの行事を行う予定でおります。感染の状況を考慮しながら、実施できる方策について検討していきます。</p>
<p>低学年保護者では答え辛い、また、情報が乏しい質問もありましたので、「よくわからない」「どちらともいえない」という回答項目も追加していただければありがたいです。他</p>	<p>来年度のアンケートには「どちらともいえない」という欄を設けます。</p>
<p>まだ低学年なので、ありませんが、調理実習が今後復活するのであれば、自宅からの持ち寄りではなく、実習費を集めた上で学校でまとめて食材を購入していただきたいです。食材等の忘れ物をしたときに、罰を与えるかのように洗い物だけさせて実習に参加させないというのは、教育効果が見込めないと思います。一人一人の食材持ち寄りは衛生面でもコロナ対応の面でもやめた方がいいと思います。"</p>	<p>感染症への配慮も含め、6年生の一食分の食事など、一人一人が材料が異なる場合を除いて、調理実習の材料については、来年度からは校費で一括購入ができるようにしていきます。</p>
<p>近隣の学校だと、まちコミを使っての出欠確認など活用しているようです。今あるアプリを最大限活用できるよう努力していただけたらと思いました。とはいえ、我が子の場合は登校行き渋り時期は、朝の時点ではっきり行くとは言えない状況でしたので、なんともいえませんが、確実に休むと決まってる。体温の入力などは使えるのでは？と思いました。</p>	<p>現在はコロナ禍のため、ご連絡をいただいた際に詳細を確認する必要がある上、学校規模的にも対応は可能であるので、電話でのやりとりがありがたいです。来年度以降、感染が落ち着いた時期に一定期間まちコミでの出席確認を試してみ、メリット・デメリットを明確にし、検討していく予定です。</p>

<p>"世の中にいじめは存在します。大人の世界であるんだから否定できない。でも好き嫌いはしょうがい。いじめのつもりが犯罪になる可能性があることを知る必要がある。旭川市の女子中学生がいじめで自殺しました。あれは完全な犯罪です。殺人事件です。他のクラスメートが傍観者にならず何か手があったはず。他人事ではないことを知ってほしい。"</p>	<p>いじめの未然防止及び対策について、次年度も重点的に取り組んでまいります。</p>
<p>夏休み宿題の読書感想文を自由課題にしてほしいです。神奈川県内の近隣小学校では自由課題になっていると聞きました。憂鬱そうな子供を励ますのにも限界があり、親子ともに非常に負担です。大口台も6年生は国語授業で扱ったのでしょうか。他学年もそうしてほしいです。</p>	<p>読書感想文に限定せず、学年の発達段階に合わせた読書に関する夏休みの課題を出していきます。</p>
<p>"学校の2つの門も施錠した方が良いと思う。校内研究授業の際に、自習の学年があるようだが、担任が不在の状態で何かあった時は学校側はどのように対応するのでしょうか？研究授業の対象クラス以外は下校させるなどの対応を望みます。</p>	<p>現在、予算申請が受理されましたので、パレット側の門にも電子錠が設置できることになりました。</p>
<p>授業参観の午前中実施を従来通りの5限目実施に戻すよう再検討いただきたい。午前だと仕事等で参加出来る人数は減ると思いますが、学校での様子を知る機会が限りなく少なくなり不安である。もともと人数が少ない学校なので、学年ごとで日にちや時間をずらせば感染症対策も可能だと思う。</p>	<p>懇談会と同時開催の時は、5時間目に設定します。また、来年度は、たくさんの方に参観していただけるように土曜参観を行う予定です。</p>
<p>"体温表の配布が遅い。配布物や伝達事項は、もっとマチコミを活用してほしい。</p>	<p>体温表は、現在のもとの来月のものが混同しないように月末の2日前に配布することにしていきます。児童が配布物をきちんと家庭に届ける力を育てることも教育的なねらいのうちの1つと考えています。ご家庭の協力もあり、現在の提出物の回収率はとてもよい状態です。重要な提出物（面談等）などの場合は、マチコミで配布したことをお知らせする等していきます。</p>
<p>担任によって休み時間のiPadの使用範囲に違いがあるため、不公平感がでないような管理をした方が良いと思う。制限をかけられると約束を破ってしまう子もいるため、納得できるような説明は丁寧にした方が良い。"</p>	<p>感染症対策で休み時間の外遊びも隔日になっており、便宜的にiPadの使用を許可している状態です。使用できるアプリについては、学年で共通したものに限定し、使用時は担任の許可を得て使うルールを徹底します。</p>
<p>"コロナ禍で授業参観や懇談会、行事が縮小されている中で、学校での様子が本当に分かりにくくなった。たしかに手紙は配布されているが、写真はモノクロだし文章だけでは不十分。</p>	<p>お便りで伝えきれず申し訳ありません。学校ホームページに日々の学校の様子をアップしておりますので、そちらもぜひご覧ください。</p>
<p>ICTと言うならば、生徒だけではなく保護者とのコミュニケーションツールとして、非対面であっても効果的に学校の様子を伝えたり、コミュニケーションをとったりと、もう少し工夫があっても良かったのではないかと思います。他</p>	<p>改善の視点をいただき、ありがとうございます。他校の情報を参考に、本校でどのような工夫ができるか検討していきます。</p>

*裏面に市教育委員会に提出する「学校評価報告書」（全市共通様式）を掲載します。

事前に「小中一貫ブロック」での相互評価、「学校づくり懇話会」による関係者評価、を行い、確認を得ています。

*学校評価結果につきましては、学校ホームページにも掲載します。貴重なご意見をありがとうございました。